

アドソル日進株式会社 野田 俊夫



JNSA会員の皆様、はじめまして。アドソル日進の野田（のだ）と申します。
このたび事務局からの主命(?)により本稿を書かせていただきます。

簡単に経歴を紹介させていただきます。

- 1999年 アドソル日進入社
基幹ネットワーク管理と最新技術のキャッチアップを担う部署に所属
- 2005年 各部署を転々と異動
ネットワーク系の技術者としてシステム開発に携わる
- 2014年 セキュリティ関連部署に異動
- 2015年 JNSAとの出会い
- 2019年 情報システム部に異動
次世代社内ITの導入推進を担当。

入社当時は好奇心が旺盛で新技術に飛びつく傾向があるため、まだ枯れてない技術を用いて痛い目を見ることが人よりも多かったと思います。それも最終的には知見を広め技術習得に結び付くことになり、それぞれの挑戦は無駄な努力ではなかったと考えています。当初からセキュリティへの興味はありましたが、どちらかというところ「いかにかい潜るか」を考えることが多く、その点においては労を惜しまない性格でした。もともとネットワーク系のスキルがあり加えてセキュリティに関連する資格をたまたま取得したため、弊社がセキュリティに関して力を入れ始めた5年ほど前にセキュリティの関連部署へ異動し、そしてこの異動がJNSAとの貴重な出会いのきっかけになりました。

新しい部署ではセキュリティ対策プラットフォームのプロダクト開発に携わり、販売支援のコンサルを中心に活動しました。そのため「セキュリティ」というものが社会にどのような影響を与えるのかを学ぶ目的でJNSAの社会活動部会への参画を決めました。

社会活動部会へ参加したときは、ちょうど年金機構の件で盛り上がっていた時期でした。部会の方々は関係省庁の方々との意見交換会では「他社の手本となるような情報公開」について前向きな議論を交わし、省庁の方々も真摯に耳を傾けていました。正直影響力の大きさを目の前で実感し、驚いたことを覚えています。

この業界で5年ほど活動して時折自分自身が「ひょっとしてこの業界にむいている?」と感じる時があります。セキュリティの対策を考えるうえで重要な要素の一つに「攻撃側の視点で考える」ことがあります。ショートカットや、抜け道を積極的に探す本来の性格?にマッチしているからと自己分析していますが…実際のところはどうか。

プライベートでは週末にバイクに乗っています。社会人になり免許を取得してから2台ほどのっていますが、まだ大型のバイクには今まで縁がなく乗ったことがありません。先日たまたま先輩ライダーの方から「大型乗りたいなら体力的にも早いほうがいい」と助言され、もうそんな心配される歳になったのだと感じつつ、せっかく免許を持っているのだから今年はぜひ大型にバイクにのるべく計画を立てています。おすすめのバイクがあればぜひ教えてください。

最後になりますが、今後も社会活動部会の皆様とともにセキュリティ業界の発展に尽くせるよう精進していきたいと思っております。まだまだ勉強が足りない身ですが、今後ともよろしく願いいたします。

三井物産セキュアディレクション株式会社 洲崎 俊



JNSA会員の皆様、三井物産セキュアディレクションの洲崎と申します。この度、株式会社ユービーセキュアの田中様よりご紹介をいただき、こちらでご挨拶させていただきます。

私は、脆弱性診断やペネトレーションテストなどを中心としたセキュリティサービスの提供に従事しているセキュリティエンジニアです。JNSAでの活動としては、ISOG-J（日本セキュリティオペレーション事業者協議会）のWGに参加させていただき、自分の専門としている脆弱性診断サービスに関して診断実施者のためのスキルマップやガイドラインの作成、初心者向けのハンズオントレーニングの提供などに携わらせていただきました。

私は現在社会人13年目となりますが、「セキュリティは今後必要になりそうだし仕事として良さそう」という恥ずかしながら非常に安易な考えでセキュリティベンダに入社したことを皮切りに、初めてセキュリティと出会いました。学生時代はメディア系の学科出身であったこともあり、サーバやアプリケーションの開発・運用経験なども無く、新人当時はセキュリティに関する知識などは完全にゼロの状態でした。正直何からやればいいのかもわからない状態からのスタートでしたが、その後いつの間にか気がつけばセキュリティの魅力にとりつかれ、今日に至ります。

さて、話は変わりますが、私は個人的にここ数年、プライベートにて勉強会のようなITイベントを企画・開催したり、運営に携わるような活動をしております。良く勉強会やカンファレンスに参加する意義や理由などについて度々話題となりますが、個人的にはこういったイベントは、参加すれば誰でもめきめきスキルが伸びるなどというわけではなく、何かの「きっかけ」を得るための場ではないかと思っています。「きっかけ」の内容は人によって様々であり、新しい知識や人との出会いであったり、人前で発表をする機会かもしれません。大事なことは参加することよりも、参加して何を持ち帰るかということではないでしょうか。

私自身は、これまで参加したイベントで様々な「きっかけ」をいただき、刺激をうけたことで、今日の自分があるのではないかと考えております。そして何より、多くの方との素晴らしい出会いがありました。恐らくこういった活動を通じなければ知り合えなかったであろう他業界の方と交流ができたのも非常に良かったことの一つです。また、一緒に飲みに行く相手にも不自由なくなりました（笑）

といったような経緯から、私は自分が運営するイベントが、参加する皆様のなんらかの「きっかけ」となれば良いなと思い、仕事以外のライフワークとして活動しております。この記事を読んでくださっている皆様も何か新しい「きっかけ」を得るために、是非ITイベントに足を運んでみてはいかがでしょうか？

最後になりましたが、少しでも世の中がセキュアになるように今後も活動していく所存であり、どこかでお会いする機会もあるかと思いますので、皆様よろしく願いいたします。